



CHAPTER 10

VPLS サービス リクエストの管理

この章では、VPLS サービスのプロビジョニングの基本手順について説明します。次の事項について説明します。

- 「VPLS サービス リクエストの概要」(P.10-1)
- 「VPLS サービス リクエストの作成」(P.10-2)
- 「CEを使用した VPLS サービス リクエストの作成」(P.10-2)
- 「CE を使用しない VPLS サービス リクエストの作成」(P.10-6)
- 「VPLS サービス リクエストの変更」(P.10-10)
- 「ブリッジドメイン ID 属性の使用」(P.10-13)
- 「VPLS サービス リクエストの保存」(P.10-14)

VPLS サービス リクエストの概要

VPLS サービス リクエストは 1 つ以上のアタッチメント回線で構成され、マルチポイント トポロジのさまざまなサイトを接続します。サービス リクエストを作成するときは、CE および PE ルータ上のインターフェイス指定や UNI パラメータを含め、いくつかのパラメータを設定します。サービス リクエストを Cisco IP Solution Center (ISC) テンプレートと統合することも可能です。1 つ以上のテンプレートを CE、PE、または中間にあるどのような U-PE にも関連付けられます。

サービス リクエストを作成するには、第 9 章「VPLS ポリシーの作成」で説明されているように、サービス ポリシーが定義されている必要があります。オペレータは定義済み VPLS ポリシーに基づいて、VPLS ポリシーへの変更とともに（または変更なしで）VPLS サービス リクエストを作成し、サービスを導入します。サービス リクエストは、選択されたポリシーと同じサービス タイプ (ERMS/EVP-LAN または EMS/EP-LAN) である必要があります。サービスの作成と導入は、通常、ネットワーク プロビジョニングの日常業務のため、正規のネットワーク技術者によって実行されます。カスタマー サイト間のレイヤ 2 接続のサービス リクエスト作成には、次の手順が関係します。

- VPLS ポリシーを選択します。
- VPN を選択します。詳細については、「VPN の定義」(P.2-4) を参照してください。
- リンクを追加します。
- CE または UNI インターフェイスを選択します。
- CE または UNI インターフェイスからの複数の Named Physical Circuit (NPC) が存在する場合、NPC を選択します。
- リンク属性を編集します。

VPLS サービス リクエストの作成

VPLS サービス リクエストを作成するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Service Inventory] > [Inventory and Connection Manager] > [Service Requests] を選択します。
[Service Requests] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [Create] をクリックします。
- ステップ 3** ドロップダウンリストから [VPLS] を選択します。
VPLS サービス リクエストは、VPLS ポリシーと関連付ける必要があります。ポリシーの中から、前の手順で作成した VPLS ポリシーを選択します（第 9 章「VPLS ポリシーの作成」を参照してください）。
- ステップ 4** 複数の VPLS ポリシーが存在する場合、VPLS ポリシーのリストが表示されます。選択する VPLS ポリシーのボタンを選びます。
- ステップ 5** 選択したら、[OK] をクリックします。
新しいサービス リクエストは、すべての編集可能/不能機能および設定済みパラメータなど、その VPLS ポリシーのプロパティをすべて継承します。

CE を使用した VPLS サービス リクエストの作成

この項では、CE が存在する場合の VPLS サービス リクエストの作成手順の詳細について説明します。この例では、サービス リクエストの VPLS ポリシーは MPLS コア使用 ERMS (EVP-LAN) サービス タイプで、CE が存在します。

次の手順を実行します。

- ステップ 1** 適切な VPLS ポリシーを選択します。
[VPLS Service Request Editor] ウィンドウが表示されます（図 10-1 を参照）。

図 10-1 [VPLS Service Request Editor]

VPLS Service Request Editor

VPLS Link Editor

SR ID: New Job ID: New Policy Name: VplsMplsErsCe

VPN: *

Description:

Showing 0 of 0 records

#	CE	CE Interface	Circuit Selection	Circuit Details	Circuit ID	Link Attributes
	<input type="checkbox"/>					

Rows per page: 10

Note: * - Required Field

138445

ステップ 2 [Select VPN] をクリックして、この CE で使用する VPN を選択します。

[Select VPN] ウィンドウに、システム内に定義されている VPN が表示されます。選択したポリシーとサービス タイプが同じ (ERMS/EVP-LAN または EMS/EP-LAN) VPN だけが表示されます (図 10-2 を参照)。

図 10-2 VPN の選択

#	VPN Name	Service Type	Customer Name
1.	<input type="radio"/> vpls_ers_vpn_1	ERS	Customer1
2.	<input type="radio"/> vpls_ers_vpn_2	ERS	Customer2



(注)

VC ID は、VPN ID からマッピングされます。デフォルトでは、ISC がこの値を「自動選択」します。必要に応じて、この値を手動で設定できます。これには、関連付けられた VPN コンフィギュレーションを編集します。[Edit VPN] ウィンドウには、[Enable VPLS] チェックボックスがあります。このチェックボックスをオンにすると、所定のフィールドに VPN ID を手動入力できます。VPN の作成および変更の詳細については、『Cisco IP Solution Center Infrastructure Reference, 6.0』を参照してください。

ステップ 3 [Select] 列から [VPN Name] を選択します。

ステップ 4 [Select] をクリックします。[VPLS Link Editor] ウィンドウに VPN 名が表示されます。

ステップ 5 [Add Link] をクリックします。

[VPLS Link Editor] を使用して、CE エンドポイントを指定します。図 10-3 にあるようなウィンドウから、1 つ以上のリンクを追加できます。

図 10-3 CE の選択

#	CE	CE Interface	Circuit Selection	Circuit Details	Circuit ID	Link Attributes
1.	<input type="checkbox"/> Select CE	<input type="text"/> Detail	Select one circuit	Circuit Details	-	Edit

- ステップ 6** 最初の [Description] フィールドには、サービス リクエストの説明を入力できます。説明はこのウィンドウに表示され、[Service Requests] ウィンドウの [Description] 列にも表示されます。このフィールドの長さは最大 256 文字です。
- ステップ 7** [CE] 列の [Select CE] をクリックします。
[Select CPE Device] ウィンドウが表示されます (図 10-4 を参照)。

図 10-4 CPE デバイスの選択

#	Device Name	Customer Name	Site Name	Management Type
1.	ce3	Customer1	east	Managed
2.	ce8	Customer1	east	Managed
3.	ce13	Customer1	east	Managed

Rows per page: 10 | Go to page: 1 of 1 | Select | Cancel

このウィンドウには、現在定義されている CE のリストが表示されます。

- [Show CPEs with] ドロップダウン リストから、CE をカスタマー名別、サイト別、デバイス名別に表示できます。
- [Find] ボタンを使用して、特定の CE を検索したり、表示をリフレッシュしたりできます。
- [Rows per page] で、ページあたりの行数を [5]、[10]、[20]、[30]、[40]、[All] に設定できます。

- ステップ 8** [Select] 列で、VPLS リンクの CE を選択します。
- ステップ 9** [Select] をクリックします。
[VPLS Link Editor] ウィンドウが開き、[CE] 列に選択された CE の名前が表示されます。
- ステップ 10** ドロップダウン リストから CE インターフェイスを選択します (図 10-5 を参照)。

図 10-5 CE インターフェイスの選択

VPLS Service Request Editor

VPLS Link Editor

SR ID: New Job ID: New Policy Name: VplsMplsErsCe

VPN: * vpls_ers_vpn_1 Select VPN

Description: [Text Field]

Showing 1-1 of 1 records

#	<input type="checkbox"/>	CE	CE Interface	Circuit Selection	Circuit Details	Circuit ID	Link Attributes
1.	<input type="checkbox"/>	ce3	Select One	Select one circuit	Circuit Details	-	Edit

Rows per page: 10

Go to page: 1 of 1

Add Link Delete Link Save Cancel

Note: * - Required Field



(注)

ERMS (EVP-LAN) サービスをプロビジョニングする (かつ、あるデバイスに UNI を選択する) 場合、同じ UNI を使用する他のサービスが存在するかどうかを ISC が判定します。存在する場合、警告メッセージが表示されます。メッセージを無視してサービス リクエストを保存すると、同じ UNI に依存している内在サービス リクエストすべてが、編集された最新のサービス リクエストの共有属性と同期されます。さらに、既存のサービス リクエストの状態が Requested 状態に変更されます。

ステップ 11 [Circuit Selection] 列で [Select one circuit] をクリックします。

[Select NPC] ウィンドウが表示されます。選択された CE および CE インターフェイスに NPC が 1 つしか存在しない場合、[Circuit Selection] 列には自動的にその NPC が入力されるため、明示的に選択する必要はありません。

ステップ 12 [Select] 列から、NPC の名前を選択します。

ステップ 13 [OK] をクリックします。

CE とそのインターフェイスを選択するごとに、[Circuit Selection] にはその CE とインターフェイスからすでに作成された NPC が自動的に表示されます (図 10-6 を参照してください)。つまり、リンクを完成させるためにさらに PE を指定する必要はありません。

図 10-6 選択された NPC

VPLS Service Request Editor

VPLS Link Editor

SR ID: New Job ID: New Policy Name: VplsMplsErsCe

VPN: vpls_ers_vpn_1

Description:

Showing 1-1 of 1 records

#	CE	CE Interface	Circuit Selection	Circuit Details	Circuit ID	Link Attributes
1.	<input type="checkbox"/> ce3	Ethernet0/1 <input type="button" value="Detail"/>	pe1:Ethernet4/3	Circuit Details	-	Edit

Rows per page: 10

Note: * - Required Field

ステップ 14 その NPC の詳細を確認する場合、[Circuit Details] 列の [Circuit Details] をクリックします。

[NPC Details] ウィンドウに、その NPC の回線の詳細のリストが表示されます。

ステップ 15 [Circuit ID] は、回線の VLAN データに基づいて自動作成されます。

ステップ 16 VPLS ポリシーで設定された値（VPLS ポリシー作成中に「editable」とマークされていた値）を編集するには、リンクの [Link Attributes] 列にある [Edit] リンクをクリックします。

[Link Attributes] ウィンドウが表示されます。



(注) このウィンドウでの属性設定について詳しくは、「[VPLS サービス リクエストの変更](#)」(P.10-10) を参照してください。



(注) 一部の VPLS サービス リクエスト シナリオで表示される [Bridge Domain ID] 属性については、「[VPLS サービス リクエストの変更](#)」(P.10-10) を参照してください。

ステップ 17 必要に応じて、前述の手順と同様に、追加の CE を指定します。

ステップ 18 [OK] をクリックします。

ステップ 19 [Save] をクリックします。

サービス リクエストが作成され、ISC に保存されます。

CE を使用しない VPLS サービス リクエストの作成

この項では、CE が存在しない場合の VPLS サービス リクエストの作成手順の詳細について説明します。この例では、サービス リクエストの VPLS ポリシーは MPLS コア使用 EMS (EP-LAN) サービス タイプで、CE が存在しません。

次の手順を実行します。

ステップ 1 適切な VPLS ポリシーを選択します。

[VPLS Service Request Editor] ウィンドウが表示されます (図 10-7 を参照)。

図 10-7 [VPLS Service Request Editor]

ステップ 2 [Select VPN] をクリックして、この PE で使用する VPN を選択します。

[Select VPN] ウィンドウに、システム内に定義されている VPN が表示されます。選択したポリシーとサービス タイプが同じ (ERMS/EVP-LAN または EMS/EP-LAN) VPN だけが表示されます (図 10-8 を参照)。

図 10-8 VPN の選択

#	VPN Name	Service Type	Customer Name
1.	vpls_ews_vpn_1	EWS	Customer3
2.	vpls_ews_vpn_2	EWS	Customer4



(注)

VC ID は、VPN ID からマッピングされます。デフォルトでは、ISC がこの値を「自動選択」します。必要に応じて、この値を手動で設定できます。これには、関連付けられた VPN コンフィギュレーションを編集します。[Edit VPN] ウィンドウには、[Enable VPLS] チェックボックスがあります。このチェックボックスをオンにすると、所定のフィールドに VPN ID を手動入力できます。VPN の作成および変更の詳細については、『Cisco IP Solution Center Infrastructure Reference, 6.0』を参照してください。

ステップ 3 [Select] 列から [VPN Name] を選択します。

ステップ 4 [Select] をクリックします。

[VPLS Link Editor] ウィンドウに VPN 名が表示されます。

ステップ 5 [Add Link] をクリックします。

[VPLS Link Editor] を使用して、U-PE/PE-AGG/U-PE エンドポイントを指定します。図 10-9 にあるようなウィンドウから、1 つ以上のリンクを追加できます。

図 10-9 N-PE/PE-AGG/U-PE の選択

VPLS Service Request Editor

VPLS Link Editor

SR ID: New Job ID: New Policy Name: VplsEwsNoCe

VPN: I2vpn_ews_vpn_1

Description:

Showing 1-1 of 1 records

#	N-PE/PE-AGG/U-PE	UNI Interface	Circuit Selection	Circuit Details	Circuit ID	Link Attributes
1.	<input type="checkbox"/> Select N-PE/PE-AGG/U-PE	<input type="text"/>	<input type="button" value="Detail"/>	Select one circuit	Circuit Details	- Edit

Rows per page: 10 Go to page: 1 of 1

Note: * - Required Field

138461

- ステップ 6** 最初の [Description] フィールドには、サービス リクエストの説明を入力できます。説明はこのウィンドウに表示され、[Service Requests] ウィンドウの [Description] 列にも表示されます。このフィールドの長さは最大 256 文字です。
- ステップ 7** [N-PE/PE-AGG/U-PE] 列の [Select N-PE/PE-AGG/U-PE] をクリックします。[Select PE Device] ウィンドウが表示されます (図 10-10 を参照)。

図 10-10 PE デバイスの選択

Show PEs with Provider Name matching *

Showing 1 - 5 of 5 records

#	Device Name	Provider Name	PE Region Name	Role Type
1.	<input type="radio"/> pe1	Provider1	region_1	N-PE
2.	<input type="radio"/> pe3	Provider1	region_1	N-PE
3.	<input type="radio"/> sw2	Provider1	region_1	U-PE
4.	<input type="radio"/> sw3	Provider1	region_1	U-PE
5.	<input type="radio"/> sw4	Provider1	region_1	U-PE

Rows per page: 10 Go to page: 1 of 1

138602

このウィンドウには、現在定義されている PE のリストが表示されます。

- [Show PEs with] ドロップダウン リストに、PE がカスタマー名別、サイト別、またはデバイス名別で表示されます。
- [Find] ボタンを使用して、指定した PE を検索したり、ウィンドウをリフレッシュしたりできます。
- [Rows per page] ドロップダウン リストを使用して、ページに一度に表示するエントリの数を [5]、[10]、[20]、[30]、[40]、[All] に設定できます。

- ステップ 8** [Select] 列で、VPLS リンクの PE デバイス名を選択します。

ステップ 9 [Select] をクリックします。

[VPLS Link Editor] ウィンドウの [N-PE/PE-AGG/U-PE] 列に選択された N-PE/PE-AGG/U-PE の名前が表示されます。

ステップ 10 ドロップダウン リストから UNI インターフェイスを選択します (図 10-11 を参照)。

図 10-11 UNI インターフェイスの選択



(注)

ERMS (EVP-LAN) サービスをプロビジョニングする (かつ、あるデバイスに UNI を選択する) 場合、同じ UNI を使用する他のサービスが存在するかどうかを ISC が判定します。存在する場合、警告メッセージが表示されます。メッセージを無視してサービス リクエストを保存すると、同じ UNI に依存している内在サービス リクエストすべてが、編集された最新のサービス リクエストの共有属性と同期されます。さらに、既存のサービス リクエストの状態が **Requested** 状態に変更されます。

ステップ 11 PE ロール タイプが U-PE の場合、[Circuit Selection] 列で [Select one circuit] をクリックします。

[Select NPC] ウィンドウが表示されます。選択された PE および PE インターフェイスに NPC が 1 つしか存在しない場合、[Circuit Selection] 列には自動的にその NPC が入力されるため、明示的に選択する必要はありません。



(注)

PE ロール タイプが N-PE の場合、[Circuit Selection] 列と [Circuit Details] はディセーブルになります。

ステップ 12 [Select] 列から、NPC の名前を選択します。

ステップ 13 [OK] をクリックします。

PE とそのインターフェイスを選択するごとに、[Circuit Selection] にはその PE とインターフェイスから作成済みの NPC が自動的に表示されます (図 10-12 を参照してください)。つまり、リンクを完成させるためにさらに PE を指定する必要はありません。

図 10-12 作成された NPC

VPLS Service Request Editor

VPLS Link Editor

SR ID: New Job ID: New Policy Name: VplsEwsNoCe

VPN: * l2vpn_ews_vpn_1

Description:

Showing 1-1 of 1 records

#	<input type="checkbox"/>	N-PE/PE-AGG/U-PE	UNI Interface	Circuit Selection	Circuit Details	Circuit ID	Link Attributes
1.	<input type="checkbox"/>	sw3	GigabitEthernet0/2 <input type="button" value="Detail"/>	pe1:FastEthernet0/0	<input type="button" value="Circuit Details"/>	-	<input type="button" value="Edit"/>

Rows per page: 10

Note: * - Required Field

ステップ 14 その NPC の詳細を確認する場合、[Circuit Details] 列の [Circuit Details] をクリックします。

[NPC Details] ウィンドウに、その NPC の回線の詳細のリストが表示されます。

[Circuit ID] は、回線の VLAN データに基づいて自動作成されます。

ステップ 15 VPLS ポリシーで設定された値（VPLS ポリシー作成中に「editable」とマークされていた値）を編集するには、リンクの [Link Attributes] 列にある [Edit] リンクをクリックします。



(注) このウィンドウでの属性設定について詳しくは、「VPLS サービス リクエストの変更」(P.10-10) を参照してください。



(注) 一部の VPLS サービス リクエスト シナリオで表示される [Bridge Domain ID] 属性については、「VPLS サービス リクエストの変更」(P.10-10) を参照してください。

ステップ 16 必要に応じて、前述の手順と同様に、追加の PE を指定します。

ステップ 17 [Save] をクリックします。

VPLS サービス リクエストが作成され、ISC に保存されます。

VPLS サービス リクエストの変更

VPLS リンクを変更または修正する必要がある場合、VPLS サービス リクエストを変更できます。テンプレートおよびデータ ファイルのリンクへの関連付けも、ここで実行できます。

次の手順を実行します。

ステップ 1 [Service Inventory] > [Inventory and Connection Manager] > [Service Requests] を選択します (図 10-13 を参照)。

図 10-13 VPLS サービス アクティベーション

Service Requests

Show Services with Job ID matching * of Type All Find

Showing 1 - 8 of 8 records

#	Job ID	State	Type	Operation Type	Creator	Customer Name	Policy Name	Last Modified	Description
1.	7	<input type="checkbox"/>	REQUESTED L2VPN	MODIFY	admin	Customer1	L2vpnErsCe	8/14/06 3:49 PM	
2.	10	<input type="checkbox"/>	REQUESTED L2VPN	ADD	admin	Customer1	L2vpnEwsCe	8/14/06 11:41 AM	
3.	12	<input type="checkbox"/>	REQUESTED L2VPN	ADD	admin	Customer1	L2vpnErsNoCe	8/14/06 2:33 PM	
4.	14	<input type="checkbox"/>	REQUESTED L2VPN	ADD	admin	Customer1	L2vpnEwsNoCe	8/14/06 3:31 PM	
5.	18	<input type="checkbox"/>	REQUESTED L2VPN	ADD	admin	Customer1	L2tpv3AtmCe	8/15/06 12:03 PM	
6.	20	<input type="checkbox"/>	REQUESTED L2VPN	ADD	admin	Customer2	L2tpv3AtmNoCe	8/15/06 1:53 PM	
7.	21	<input type="checkbox"/>	REQUESTED VPLS	ADD	admin	Customer1	VplsMplsErsCe	8/18/06 11:46 AM	
8.	22	<input type="checkbox"/>	REQUESTED VPLS	ADD	admin	Customer1	VplsMplsEwsNoCe	8/18/06 2:37 PM	

Rows per page: 10 Go to page: 1 of 1 Go

Auto Refresh: Create Details Status Edit Deploy Decommission Purge

ステップ 2 サービス リクエストのチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 [Edit] をクリックします。

[VPLS Link Editor] ウィンドウが表示されます (図 10-14 を参照)。

図 10-14 [VPLS Link Editor]

VPLS Service Request Editor

VPLS Link Editor

SR ID: 26 Job ID: 26 Policy Name: VplsMplsErsCe

VPN: vpls_ers_vpn_1

Description:

Showing 1-2 of 2 records

#	CE	CE Interface	Circuit Selection	Circuit Details	Circuit ID	Link Attributes
1.	<input type="checkbox"/> ce3	Ethernet0/1 <input type="button" value="Detail"/>	pe1:Ethernet4/3	Circuit Details	VLAN:26	Edit
2.	<input type="checkbox"/> ce8	FastEthernet0/1 <input type="button" value="Detail"/>	pe3:Ethernet1/1	Circuit Details	VLAN:25	Edit

Rows per page: All Go to page: 1 of 1 Go

Add Link Delete Link Save Cancel

Note: * - Required Field

ステップ 4 コンフィギュレーションの必要に応じて、[End-to-End-Wire Editor] ウィンドウの残りの項目を指定します。

- **ブルー**で強調表示された値を選択して、VPLS リンクを編集します。
- VPLS リンクを追加するには、[Add Link] をクリックします。
- VPLS リンクを削除するには、[Delete Link] をクリックします。



(注) テンプレートが追加されたサービス リクエストを稼働中止する場合、正しい手順については「サービス リクエストのモニタリング」(P.11-10) を参照してください。

- 最初の [Description] フィールドには、サービス リクエストの説明を入力できます。説明はこのウィンドウに表示され、[Service Requests] ウィンドウの [Description] 列にも表示されます。このフィールドの長さは最大 256 文字です。

- [Circuit ID] は、回線の VLAN データに基づいて自動作成されます。

ステップ 5 リンク属性を編集するには、[VPLS link editor] に表示される [Link Attributes] 列の [Edit] をクリックします。

[Link Attributes] ウィンドウが表示されます。

ステップ 6 必要に応じて、リンク属性を編集します。



(注) VPLS ポリシーで [VLAN ID AutoPick] を選択しなかった場合、[Provider VLAN ID] フィールドに VLAN を入力するよう促されます。



(注) 一部の VPLS サービス リクエストシナリオで表示される [Bridge Domain ID] 属性については、「[VPLS サービス リクエストの変更 \(P.10-10\)](#)」を参照してください。

ステップ 7 リンクにテンプレートおよびデータ ファイルを追加するには、[Device Name] を選択し、[Templates] の下の [Add] をクリックします。

[Add/Remove Templates] ウィンドウが表示されます。



(注) リンクにテンプレートを追加するには、作成済みのテンプレートが必要です。テンプレートの作成手順について詳しくは、『[Cisco IP Solution Center Infrastructure Reference, 6.0](#)』を参照してください。サービス リクエスト内でのテンプレートおよびデータ ファイルの使用方法について詳しくは、[付録 B 「テンプレートおよびデータ ファイルの使用」](#) を参照してください。

ステップ 8 [Add] をクリックします。

[Template Data File Chooser] ウィンドウが表示されます。

ステップ 9 左のペインをナビゲートして、テンプレートを選択します。

関連付けられたデータ ファイルがメイン ウィンドウの各行にリストされます。

ステップ 10 追加するデータ ファイルのチェックをオンにして、[Accept] をクリックします。

[Add/Remove Templates] ウィンドウにテンプレートが表示されます。

ステップ 11 テンプレート名を選択します。

ステップ 12 [Action] のドロップダウンリストを使用して、[APPEND] または [PREPEND] を選択します。

[APPEND] を選択すると、ISC はテンプレートによって生成される CLI を通常の ISC (非テンプレート) CLI 末尾に追加します。[PREPEND] を選択すると、それとは逆になります。テンプレートを ISC CLI 末尾には追加しません。

ステップ 13 このサービス リクエストにこのテンプレートを使用するには、[Active] を選択します。

[Active] を選択しないと、テンプレートは使用されません。

ステップ 14 [OK] をクリックします。

追加されたテンプレートが [Link Attributes] に表示されます。

ステップ 15 [OK] をクリックします。

[Service Request Editor] ウィンドウが表示されます。

ステップ 16 VPLS リンクの編集が終了したら、[Save] をクリックします。

ブリッジドメイン ID 属性の使用

ブリッジドメイン ID 属性は、図 10-15 に示すように、一部の VPLS サービス リクエスト シナリオの [Link Attributes] ウィンドウに表示されます。

図 10-15 ブリッジドメイン ID 属性

Attribute	Value
N-PE/U-PE Information	tl-dev-12404-2
Interface Name	GigabitEthernet3/0
VLAN and Other Information	
Bridge Domain Id*	(1-4294967295)
PE/UNI Interface Description:	
Provider VLAN ID*	(1-4094)
VLAN ID AutoPick	<input type="checkbox"/>
VLAN Name	

Note: *- Required Field

ブリッジドメイン ID 属性を使用するには、[Bridge Domain ID] テキストフィールドに ID 番号を入力して、VPLS サービス リクエストのブリッジドメイン機能をイネーブルにします。

使用可能な値の範囲は 1 ~ 4294967295 です。

使用上の注意事項は次のとおりです。

- ブリッジドメイン ID 属性が使用可能なのは、次のサービス リクエスト シナリオだけです。
 - イーサネット/ERMS (EVP-LAN)、CE あり
 - イーサネット/ERMS (EVP-LAN)、CE なし
 - イーサネット/EMS (EP-LAN)、CE あり
 - イーサネット/EMS (EP-LAN)、CE なし
- ブリッジドメイン ID 属性がサポートされているのは、IOS 12.0(32)SY6 が稼動し、N-PE ロールで機能している Cisco GSR 12406 だけです。この属性が出現するのは、このプラットフォームのサービス リクエストだけです。他のプラットフォームでは、この属性はサービス リクエストの [Link Attributes] ウィンドウからフィルタ処理されています。
- このポリシーに基づいたサービス リクエストには、次の点が適用されます。
 - N-PE (GSR プラットフォーム) が UNI デバイスとして使用されると、標準 UNI 属性はサービス リクエスト ワークフローの [Link Attributes] ウィンドウに表示されません。
 - U-PE (非 GSR プラットフォーム) が UNI デバイスとして使用されると、標準 UNI 属性はすべてサービス リクエスト ワークフローの [Link Attributes] ウィンドウに表示されます。
 - VPLS EMS サービスの場合、U-PE (非 GSR プラットフォーム) は GSR デバイス (N-PE) 上に終端する同じ回線内で使用される必要があります。言い換えると、GSR デバイス上の VPLS EMS のプロビジョニングには、NPC 回線を使用する必要があるということです。

VPLS サービス リクエストの保存

VPLS サービス リクエストを保存するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** アタッチメント回線すべてのリンク属性の作業が終了したら、[Save] をクリックして VPLS サービス リクエスト作成を終了します。

VPLS サービス リクエストの作成に成功していれば、サービス リクエストのリストがウィンドウに表示されます (図 10-16 を参照してください)。新規作成された VPLS サービス リクエストは、図に示すとおり REQUESTED 状態で追加されます。

図 10-16 作成された VPLS サービス リクエスト

Service Requests										
Show Services with Job ID <input type="text"/> matching * <input type="text"/> of Type All <input type="button" value="Find"/>										
Showing 1 - 8 of 8 records										
#	<input type="checkbox"/>	Job ID	State	Type	Operation Type	Creator	Customer Name	Policy Name	Last Modified	Description
1.	<input type="checkbox"/>	7	REQUESTED	L2VPN	MODIFY	admin	Customer1	L2vpnErsCe	8/14/06 3:49 PM	
2.	<input type="checkbox"/>	10	REQUESTED	L2VPN	ADD	admin	Customer1	L2vpnEwsCe	8/14/06 11:41 AM	
3.	<input type="checkbox"/>	12	REQUESTED	L2VPN	ADD	admin	Customer1	L2vpnErsNoCe	8/14/06 2:33 PM	
4.	<input type="checkbox"/>	14	REQUESTED	L2VPN	ADD	admin	Customer1	L2vpnEwsNoCe	8/14/06 3:31 PM	
5.	<input type="checkbox"/>	18	REQUESTED	L2VPN	ADD	admin	Customer1	L2tpv3AtmCe	8/15/06 12:03 PM	
6.	<input type="checkbox"/>	20	REQUESTED	L2VPN	ADD	admin	Customer2	L2tpv3AtmNoCe	8/15/06 1:53 PM	
7.	<input type="checkbox"/>	21	REQUESTED	VPLS	ADD	admin	Customer1	VplsMplsErsCe	8/18/06 11:46 AM	
8.	<input type="checkbox"/>	22	REQUESTED	VPLS	ADD	admin	Customer1	VplsMplsEwsNoCe	8/18/06 2:37 PM	

Rows per page: 10

Auto Refresh:

- ステップ 2** しかし、何かの原因で VPLS サービス リクエストの作成に失敗した場合 (範囲外の値が選択された場合など)、エラー メッセージによって警告が表示されます。

このような場合は、エラーを修正し、再度サービス リクエストを保存する必要があります。